

2023 食育コーナー

令和6年2月5日

東京都立中野特別支援学校長

和田 慎也

No. 5 (担当 米倉 麻莉)

小学部

1年生は、7月に親子歯科指導や希望者による個別の摂食指導などを経験し、食や歯磨きに関しての個々の課題を学校と保護者で共有する場がありました。口の中に過敏がある児童に対しては、手袋を用いて口の過敏取りを行い、食の幅が広がるように、また歯磨きの仕上げの受け入れができるように、日々取り組んでいます。入学当初は全く給食を食べられなかった児童も、過敏取りや教員とのやりとりを通して、牛乳だったり、ごはんやおかずだったり、食べられる献立が増えました。また、混ざっている献立が苦手な児童に対しては、食べることができるように、教員が食材を選り分けることで、抵抗感を減らす工夫をしています。また、デザートなどの好きなメニューをモチベーションにして、完食できる児童も増えました。食後は、歯磨き手順カードでの歯磨きを行うことで、一人でカードをめくって所定の個所を10カウントで磨き進められるようになるなど、毎日の積み重ねの中で、できることが増えています。



6年生は、食具の持ち方や食事のマナーを意識しながら、毎日の給食で取り組んでいます。食具の持ち方では、はしやスプーンの持ち方に気を付けて食事をしています。食事のマナーでは、食器に手を添えることや、良い姿勢を意識しながら食事を楽しんでいます。

歯磨きでは、1人でタイマーをセットして自分で磨いています。その後、教員が磨き足りていない奥歯などを中心に仕上げ磨きしています。

移動教室では、キッザニア・葛西臨海水族園など公共の施設でも食具の持ち方や食事のマナーを意識しながら、外食を楽しむことができました。

